

一般質問 「信長公450(よんごーまる)プロジェクトについて」

【質問者 1番: 議員1】

議長のお許しをいただきましたので、発言通告に従い、質問いたします。

信長公450(よんごーまる)プロジェクトについて質問いたします。

織田信長公は、1567年に稲葉山城に入城し、地名を井口から岐阜と改めました。”岐阜”という地名は、「周の文王が岐山から起こり、天下を定める」という中国の故事と、孔子の生誕地である「曲阜」から、太平と学問の地になるよう願いを込めて命名したと言われていす。信長公は、岐阜の名付け親でもあるわけです。

※故事：昔からあったといわれることがら。昔から伝わっている話。

※孔子：(紀元前 551 ごろ～紀元前 479) 古代中国の思想家。儒教を開いた人で、日本の文化にも古くから大きな影響を与えた。弟子たちが、孔子の教えを「論語」にまとめた。

【質問者 2番: 議員2】

以後10年、“天下布武”を唱え、岐阜を本拠地として天下平定を目指すとともに、今に続く長良川鶺鴒を保護し、楽市楽座により岐阜を繁栄に導きました。

また、昨年4月には、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜が日本遺産 第1号として認定されるなど、信長公と岐阜とのかわりは注目されています。

そして今年度は、企画部きかくぶに新たに信長公450プロジェクト推進課すいしんかを設置せっちし、市をあげてプロジェクトに取り組まれていると思います。

※天下布武てんかふぶ：「天下に武を布（し）く」。天下を統一し、それを武士が統治するということ。

※楽市楽座らくいちらくざ：市や座（＝商工業者などの同業組合）の特別な権利を認めず、だれでも自由に商売ができるようにした政策。戦国時代から安土桃山時代にかけて、城下町の商工業をさかんにするために行われた。

【質問者 3番： 議員3】

その上で、信長公450（よんごーまる）プロジェクトについて、企画部長にお尋ねします。

最近、450と大きく書かれたポスターを街中まちなかで見かけることが多くなりましたが、信長公450（よんごーまる）プロジェクトを広く発信していくには、ポスターだけでは不十分ではないかと考えます。どのようにPRピーアールしていくことを考えていらっしゃいますか。

また、プロモーションの実施じっしも必要ですが、市民参画しみんさんかくの事業やイベントの実施じっしにより、機運きうんを盛り上げていくことも非常ひじょうに重要じゅうようではないでしょうか。今年から参加できるイベントや実施中じっしちゅうの事業は何かあるのか、具体的にお答えください。

【答弁】 企画部長

【答弁者： 企画部長1】

信長公450(よんごーまる)プロジェクトについての質問にお答えします。

2017年は、信長公が岐阜に^{にゅうじょう}入城し、命名してから450年の^{きねん}記念すべき^{ふしめ}節目の年です。450(よんごーまる)プロジェクトは、450年を^{きねん}記念した^{しゅうねんじぎょう}周年事業を通じて、信長公を^{ちいきこゆう}地域固有の^{れきししげん}歴史資源として^{みが}磨き上げ、^{しょうらい}将来に向け“信長公ゆかりのまち・岐阜市”として^{はか}ブランド化を図り、^{れきしかんこうとし}歴史観光都市として^{かつせいか}地域の^{はか}活性化を図ることを目指しています。そのための^{じっせん}土台づくり、^{ゆうきやく}実践・誘客、ブランド化の大きく3つのステージによりプロジェクトに取り組んでいます。

平成27、28年の2カ年は、土台づくりとして、プロモーションや^{しゅうねんじぎょう}周年事業の^{こうちく}構築を^{はか}図ります。また、^{しゅうねんじぎょう}周年事業の内容は、イベントガイドブックとして取りまとめ、秋に発表させていただく予定です。

※周年事業：まる1年間行う事業。

【答弁者： 企画部長2】

^{じょうほうはっしん}情報発信としましては、2017年を^{みす}見据えた^{せっきよくてき}積極的なプロモーションを^{じっし}実施していきます。

^{けいはつ}啓発ポスターだけでなく、^{せんよう}専用のポータルサイトの^{せっち}設置やのぼり^{ばた}旗等の^{さくせい}作製による^{けいはつ}情報発信、啓発とともに、プロモーションDVDの^{さくせい}作製やノベルティグッズの^{さくせい}作製により^{ゆうきやくかつどう}誘客活動を^{じっし}実施してきました

が、今後は各種メディアへの広告掲載や、観光物産展でのプロモーション、旅行代理店や旅行サイトと連携した旅行商品の造成により、広く全国に情報を発信していきたいと考えています。

【答弁者： 企画部長3】

今年度のプレ事業としましては、岐阜女子大学とコラボし、学生が取材等により「信長公ゆかりのまち・岐阜市」の新たな魅力を発見する「信長公と岐阜のつながり再発見事業」や、市民公募による「信長公戦めし」の開発、こちらも市民参加による「土産品モニター会議（信長評定）」を行うとともに、携帯位置情報ゲームとコラボしたイベントなどを実施するほか、市主催の各種大会の場でプロモーションを行うことで機運の盛り上げに努めています。また、誰でも参加可能な信長公450（よんごーまる）プロジェクトの告知ポスターのモデル、小中学生を対象とした書道コンクールや、450記念年賀状を作成しますので、ぜひ、お使いいただき、一緒にプロジェクトを盛り上げていただきますようお願いいたします。